

送付票(本状含め2枚)  
宛先 各医療機関  
各地区医師会・歯科医師会・  
薬剤師会  
各市町村  
各市町村教育委員会  
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

平成29年3月3日  
富士・東部保健所

# 感染症発生動向調査情報(週報)

2017年08週(02月20日～02月26日)

## 山梨県内流行情報

県全体のインフルエンザの流行状況はピークを過ぎましたが、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内で引き続き警報レベルとなっており、峡南保健所管内では引き続き注意報レベルとなっています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内での警報レベルが解除となりました。また、富士・東部保健所管内では流行性耳下腺炎が新たに注意報レベルとなりました。これらの感染症を予防するためには、咳エチケットの励行、手洗い、うがいなどを行いましょ。感染性胃腸炎については県全体で平年並みに流行している状態です。十分に加熱された食品の喫食、手洗いに心がけ、患者の嘔吐物や糞便を処理する際には、十分注意しましょ。

[今週の警報]:インフルエンザ(中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)

[今週の注意報]:インフルエンザ(峡南保健所管内) / 流行性耳下腺炎(富士・東部保健所管内)

## 富士・東部管内流行情報

インフルエンザの警報レベルが継続しております。手洗い・うがい・マスク着用、加湿器などで湿度を保つなどの感染予防に努めると共に、体調が悪い時は無理をせず早めに医療機関を受診しましょ。山梨県インフルエンザ流行マップをご参照ください。

また、流行性耳下腺炎が注意報レベルとなりました。流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」とも言われ、3～6歳の小児に多く見られます。感染経路は、接触感染あるいは飛沫感染であり、感染力はかなり強いと言われております。有効な予防はワクチンですが、マスクの着用や咳エチケット等の予防対策を徹底しましょ。

## 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	82805	16.93	671	0.21	1143	0.37	7720	2.47	16592	5.31	1024	0.33
山梨県	833	20.32	1	0.04	11	0.46	61	2.54	147	6.13	6	0.25
中北	293	20.93	-	-	2	0.25	19	2.38	61	7.63	4	0.5
中北峡北	174	21.75	-	-	4	0.8	19	3.8	29	5.8	-	-
峡東	157	22.43	-	-	-	-	7	1.75	11	2.75	1	0.25
峡南	42	14	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	167	18.56	1	0.2	5	1	16	3.2	44	8.8	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	386	0.12	220	0.07	1228	0.39	23	0.01	52	0.02	1974	0.63
山梨県	3	0.13	4	0.17	3	0.13	1	0.04	1	0.04	32	1.33
中北	1	0.13	3	0.38	1	0.13	1	0.13	-	-	6	0.75
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	3	0.6
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	-	-	1	0.2	-	-	-	-	23	4.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	298	0.44	6	0.01	16	0.03	176	0.37	4	0.01
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

## 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	8週		7週		6週		5週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや減少しています	大変流行しています	20.32	833	23.12	948	28.71	1177	40.12	1645
RSウイルス感染症	-	-	0.04	1	-	-	0.08	2	0.08	2
咽頭結膜熱	減少しています	平年よりやや多い発生数です	0.46	11	0.92	22	0.25	6	0.63	15
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.54	61	2.67	64	4.08	98	3.25	78
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	6.13	147	5.5	132	6.75	162	6.75	162
水痘	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.17	4	0.29	7	0.17	4
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.08	2	0.13	3	0.38	9
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.08	2	0.08	2	0.08	2
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.33	8	0.17	4	0.17	4
百日咳	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	0.04	1	-	-	-	-	0.04	1
流行性耳下腺炎	増加しています	やや流行しています	1.33	32	0.38	9	0.71	17	1.54	37
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	0.33	3	-	-	-	-	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.3	3	0.3	3	0.8	8	1	10
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

## 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	95
二類感染症	結核	中北	男	31
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	富士・東部	男	85
二類感染症	結核	中北	男	11